

# J F M A 情報

Japan Futon Manufacturers Association

日本ふとん製造協同組合  
一般財団法人日本ふとん協会

JFMAアドレス <http://www.futon.or.jp/>

平成 29 年 1 月 1 日 No.132



## 紙面ガイド

年頭所感 .....	1~2
浅黄理事長「『まるごとジャパン』で差別化を」	
米山部会長「外国人技能実習制度の活用を」	
石田委員長「『安心・安全』な日本製寝具」	
2017 年度「羊毛原料動向予測」 .....	3
モンゴル視察ツアー訪問レポート .....	6
統計資料（繊維） .....	10
統計資料（貿易） .....	11

## 「まるごとジャパン」で差別化を

日本ふとん製造協同組合 理事長 浅黄 敬之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は組合活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も引き続き組合活動にお力添えいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

ところで、私事ではありますが昨年の総会において米山前理事長の後を引き継ぎ、伝統ある本組合の第7代理事長に就任いたしました。もとより浅学非才の身ではありますが職務の重要性を深く認識し、組合発展のために努力して参る所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと世界情勢に大きな変化があった年でした。6月に国民投票で英国のEU離脱が決定し、11月の次期米国大統領選挙ではTPP離脱を唱えるトランプ氏が次期大統領に選出されました。この二つの出来事は大方の予想を覆す結果でありました。世界の経済界を牽引する英国と米国が自由貿易から保護貿易に方向転換するのではないかと懸念が生まれております。いずれにしても、今までの世界経済の枠組が大きく変わろうとしています。このような世界情勢の変化を受けて為替相場も大きく変動しました。2016年は1ドルが120円前後で始まりましたが、

徐々に円高傾向が強まり6月の英国EU離脱決定時には瞬間的に1ドルが100円を切りました。その後11月に入りトランプ氏が次期米国大統領に決定した後は、新たな米国経済対策への期待から円安傾向が急速に強まり11月末現在、1ドル113円前後まで下げてきております。2017年度も世界経済は波乱含みで幕開けしそうです。我々組合企業にとりましても為替相場はふとんの原材料に直接影響してきますので、世界経済の変化に伴う為替相場の変動に注視していかなければならないと思います。

ところで、我が組合におきましても2016年は「まるごとジャパン」ラベルのスタンダードバージョンが誕生しました。従来のラベルよりも基準を和らげ、広く組合企業の皆様に使用していただけるようになりました。また、ラベルのパンフレットも作成し消費者にラベル付ふとんの優位性をアピールできるようにしました。輸入寝具との差別化に是非利用していただきますようお願い申し上げます。合わせて組合発行の日本製ラベルのご利用も引き続きお願い申し上げます。最後に2017年が皆様にとりまして飛躍の年になりますことをお祈りいたします。

# 外国人技能実習制度の活用を

J FMA国際交流部会長 米山 元章

あけましておめでとうございます。

今年度より、奥中前部会長から部会長を引き継ぎました米山でございます。宜しくお願い致します。

国際交流部会は今年で15年目を迎えます。この間、主に中国を中心に14年間で約580名の技能実習生を受入れてきました。しかし、近年中国経済の発展に伴う中国国内の賃金の上昇、円安等の要因など環境が大きく変化し、募集人員に達しない状態が生じてきました。このような事態を受け、当部会では他の受入れ団体の情報や実習生の送出国の情報を収集・検討して、新たにフィリピン、カンボジアの実習生の受入れを開始しました。両国から受入れている組合員の評判も良く、引続き受入れを予定しています。

当組合では、15年前に「寝具製作技能士」の枠に、外国人技能実習生受入れのため基礎級を新たに設け「寝具製作」の職種を作りました。その後、中央能力開発協会（試験問題作成・実施機関）の指導に基づき、検定試験問題等の改訂等を行ってきました。

昨今では、失踪者の増大等で実習生の監理の制度見直し等があり、団体、企業に対して監理の厳格化が義務付けられています。しかし、受入れ企業の監理体制がしっかりしていれば、3年間安定した労働力の確保となります。実習生を継続して受入れることで、先輩が新しい実習生を指導し製造業にとって最も重要な技術の継承ができます。

当組合の組合員数は減少していますが、実習生受入れ事業は組合活動の大きな柱となっています。我々業態の悩みである現場の人材確保につながります。一社でも多くの組合員各位が、実習生を受入れていただくことを切にお願いします。組合員以外の方でも「寝具製作」に関連していれば、国際交流部会への参加はできます。お声掛けをお願い致します。

当部会は、現在実習生を受入れている組合員への技能実習制度を順守した正しい指導、新しく参加される企業の掘り起しを積極的に進めて参ります。

今年もご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

---

## 「安心・安全」な日本製寝具

J FMA経営情報委員長 石田 裕紀子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は組合情報「J FMA情報」をお読み頂き誠に有難うございました。

J FMA理事長に就任された浅黄前委員長の後を受け、この度、経営情報委員長を拝命いたしました石田です。若輩者ではございますが、皆様のご教示を仰ぎながら精一杯務めさせていただきます。また、アサギ(株)浅黄東京支店長、白崎繊維工業(株)白崎専務取締役にも新たに委員に就任頂き、新体制で本年も引き続き組合員の皆様に少しでも有益な情報を提供できるように活動して参りたいと思っております。

情報誌に関しまして、皆様のご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。今後とも変わらぬご愛読のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、WHOや厚生労働省が提唱する「健康寿命

の延伸」という概念から、睡眠への関心が高まっており、眠りの質と寝具の重要な関係性にも注目されつつあります。しかし、良いふとんの選び方は、まだまだ確立されていない中、当組合「まるごとジャパン」はまさに時代に即応したブランドです。眠りを通して国民の健康に寄与する為にも、厳選した原料を使用し、国内で丁寧に製造された「安心・安全」な日本製寝具の価値ある優位性を消費者に分かりやすく訴求できるラベルを、より多くの組合企業様に積極的にご活用頂きたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 2017年度「羊毛原料動向予測」

名川織商株式会社 部長 日比野 祐三

皆さま、明けましておめでとうございます。日頃より天然繊維ウールのご活用に深く感謝申し上げます。

さて、2016年を振り返りますと、大きな節目となりました。一つは、羊毛市況を考える時、今や世界一の原料買い付け国の中国に陰りが見えて来たこと、そして7月にはイギリスでの選挙結果を受けて、為替の流れが変わったこととなります。

寝装用途に向くとされる、フランス、イギリスの羊毛は本当に少なく、堅調な相場を推移しているのですが、産出国の通貨レート次第では、5～10%程度の値下げは期待出来ると考えています。

世界に約11億頭の羊が飼われ、洗い上がり換算で約110万トンを提供出来るのですが、繊維生産全体から見れば約1.5%に過ぎないと言われています。

## 資料1 世界の羊頭数 (IWTO Market Information 2015)

Table 1.1 World Sheep Population by Country

Units:000 head

	1990	1995	2000	2005	2013	2014p
Australia	173,776	120,862	118,552	100,602	75,548	72,612
China	113,508	117,446	131,095	170,882	150,017	158,490
CIS	138,564	90,499	50,056	64,393	84,451	85,501
<i>Russia</i>	n/a	31,818	12,603	15,494	22,061	23,163
<i>Turkmenistan</i>	n/a	6,100	7,500	13,089	14,000	14,058
<i>Kazakhstan</i>	n/a	24,273	8,725	11,519	15,198	15,137
<i>Uzbekistan</i>	n/a	9,053	8,000	9,555	14,162	14,117
<i>Other CIS</i>	n/a	19,256	13,227	14,736	19,030	19,025
India	48,700	54,131	59,447	66,319	63,800	63,770
Sudan	20,700	37,180	46,095	49,797	52,500	52,535
Iran	44,581	50,889	53,900	53,800	50,220	50,255
Nigeria	22,960	21,750	26,000	31,548	39,000	39,216
United Kingdom	44,469	43,304	42,264	35,253	32,856	33,989
New Zealand	57,852	48,816	42,260	39,880	30,787	29,800
Pakistan	25,698	29,065	24,084	24,923	28,755	28,754
Turkey	43,647	35,646	28,492	25,201	27,425	27,350
Algeria	17,697	17,302	19,946	19,946	26,573	26,544
Ethiopia	12,460	14,000	10,951	20,734	26,500	26,543
South Africa	29,500	25,300	28,551	25,334	25,000	24,913
Mongolia	14,265	13,787	15,191	12,885	20,066	23,209
Morocco	13,524	13,389	17,300	16,872	19,956	19,843
Syria	14,509	12,075	13,505	19,651	18,019	18,025
Kenya	9,050	8,208	7,940	10,034	16,601	16,032
Brazil	20,015	18,336	14,785	15,588	17,291	17,290
Spain	22,739	23,058	23,965	22,750	16,119	16,045
Indonesia	6,006	7,169	7,427	8,327	14,560	14,642

Mali	6,086	5,431	6,200	8,403	13,736	13,730
Afghanistan	14,170	12,907	15,000	10,773	13,141	13,181
Somalia	13,000	13,500	13,808	14,700	12,300	12,308
Argentina	28,571	21,626	13,562	15,000	12,111	12,200
Peru	12,257	12,570	14,686	14,822	12,434	12,082
Saudi Arabia	8,047	8,501	8,091	8,083	11,500	11,567
Niger	8,881	9,192	9,514	9,847	10,400	10,453
Yemen Republic	3,756	3,751	6,193	7,980	9,551	9,539
Greece	8,723	8,802	8,951	8,827	9,520	9,499
Bolivia	7,676	7,884	7,835	7,971	9,288	9,287
Mauritania	5,100	5,288	8,035	8,850	9,100	9,100
Burkina Fasso	5,047	5,851	6,267	7,111	9,008	9,006
Romania	15,435	10,897	8,121	7,425	8,834	8,803
Mexico	5,846	6,195	6,046	7,207	8,497	8,513
Iraq	4,473	4,449	5,200	6,800	8,250	8,245
Uruguay	25,200	20,205	13,198	10,847	7,500	7,427
Others	139,879	126,101	123,942	127,509	149,352	146,855
<b>TOTAL</b>	<b>1,206,378</b>	<b>1,085,361</b>	<b>1,056,455</b>	<b>1,116,872</b>	<b>1,150,565</b>	<b>1,148,300</b>

**Table 1.5 Estimated Wool Production by Micron Range:Clean equivalent**

	1990	1995	2000	2005	2013	2014p
Fine Wool ( $\leq 24.5\mu\text{m}$ )	948,457	648,317	557,439	465,953	415,131	421,358
Medium Wool (24.6-32.5)	449,652	313,362	276,377	259,843	259,295	260,980
Coarse Wool ( $> 32.5\mu\text{m}$ )	608,843	558,558	509,389	493,257	489,489	481,412

**資料2 オーストラリア羊毛相場の推移**

羊毛は、吸放湿性、保温性に富み、よく染まり汚れにくい、そのタンパク質（キューティクル）の構成から弾力性を生み、難燃性を持った繊維の王様です。しかし、さまざまな繊維素材の台頭で、その活躍の場は限られ、ファッションの素材に欠かせない羊毛タイプ・メリノウールを産するオーストラリア、ニュージーランド、南アフリカなどでは、減産が続いています。

原材料としての羊毛への採算性は低く、羊毛も農産物と捉えてみると、脂肪分が比較的少ないといわれるラム肉生産への切り替えも広がっているそう

です。

その環境下ですので、今や大国・中国の買い付けに陰りが見えても、相次ぐ減産傾向から、オークションでの動向はほぼ横ばいを予測しております。資料2「オーストラリア羊毛相場の推移」を見ますと、リーマンショック時の大きな落ち込みから回復した動きを現在も続けています。

なお、JFMA会員の皆さまには、日本製の羊毛ふとん・まるごとジャパンの企画がございます。どうぞ、より一層のご理解とご愛顧のほど、よろしく願いいたします。

## 平成28年度 技能実習生23名が入国

—カンボジア人技能実習生6名が初めて入国—

当組合の外国人技能実習生受入れ事業は、今年で15年目を迎えますが、昨年はカンボジアから初めて6名の実習生を受入れました。2015年にフィリピン人実習生を初めて受入れて、中国・フィリピン・カンボジアと3ヶ国からの技能実習生を受入れました。

昨年は、中国から9名、フィリピンから8名、カンボジアから6名の合計で23名の実習生を受入れました。入国後1ヶ月間、日本語を中心に入管法や関係労働法に関する法的保護に関する講習会を栃木県小山市と奈良県高取町で実施し、受入れ組合員企業に配属しております。

本年（2017年）は、1月7日から中国での面接を皮切りに、カンボジア・フィリピンでの面接を予定しており、28名の実習生の受入れを予定しております。



2016年7月22日カンボジア・中国人の開講式

技能実習生の受入れについては、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が、2016年11月18日に国会を通過し、11月28日に公布されました。この法律は公布後1年以内に施行される予定です。法律の具体的な施行日や省令公布等の状況については、決定次第に国際交流部会等で説明させていただく予定です。この法律には、技能実習計画の認定制や実習生受入れ機関の届出制、監理団体（組合）の許可制と、外国人技能実習機構を認可法人としての新設、実習生の受入れ期間を3年から最長5年を可能とすることなどが盛り込まれています。



# モンゴル視察ツアー訪問レポート

J FMA経営情報委員会委員 富澤 順

## 【渡航目的】

羊、らくだ、ヤギ（カシミヤ）などの地上資源を有効に使いながらモンゴル国の産業発展にむけて「技術提供」を行うとともに、日本との架け橋としてふとん文化を世界にアピールすることでふとん業界の今後の発展、販路拡大につなげてゆく。

## 【目的地】

ウランバートル市（市内人口134万人、モンゴル国人口300万人）、経済成長率2.3%

## 【モンゴル国の貿易】

○輸入代表国：中国、イギリス、ロシア、イタリア、スイス

○輸出代表国：中国、ロシア、日本、韓国、米国

## 【日本との輸出入状況】

○モンゴル⇒日本：鉱物資源（石炭、螢石）、繊維、一般機械

○日本⇒モンゴル：自動車、一般機械、建設、鉱山用機械

## 【訪問先】

### ○サンシロー社（商社および紡績工場）

17番手という細番手の糸の特許を取得した。オリジナル製品をいくつか出していたが、なかなか世にしらしめるための販促活動につながっていないとのこと。夏は工場が休みだとも話していた。



（右手前角 ボルファー社長）

サンシローは紡績メインであり、セーターやショール、ストール系が主流。原料もすべてモンゴルで飼育されたヤギや羊、キャメルを使っている。



肌掛けふとんもあったが中わたのふんわり感はない。



機械はとてもきれいな状態でメンテナンスされていた。（写真左）



織物用だが防縮もできる設備があった（写真右）

### ○ツヤ社（洗毛工場）※現在フランスベッド(株)のカシミヤ原料指定洗毛工場

この工場では、主に繊維にするためのカシミヤのカーディングを行っており、今年のデキとしては昨年ほどではないがライトグレー種の色も白っぽくていい感じだとのこと。

古い機械を使っているがとてもきれいだった。今はカシミヤ専用として使っている。





### ○日本大使館訪問（清水武則特命全権大使）

横尾氏（丸三綿業株）が通うモンゴル語教室の仲間（生徒）の中に、モンゴルの日本大使館に勤務する穂積さん（経産省）がいたことをきっかけに訪問が決定した。

#### 〔清水武則 特命全権大使の経歴〕

大分県九重町飯田出身

1975年（昭和50年）中央大学法学部を卒業。外務専門職試験に合格し外務省に入省。

1976年（昭和51年）イギリスのリーズ大学でモンゴル語研修

1977年（昭和52年）モンゴル国立大学に留学しモンゴル語研修。

1985年-1989年 在カナダ日本大使館で広報文化担当官

1989年 2度目のモンゴル在勤

1997年-1999年（財）フォーリン・プレスセンター取材協力課長

1999年-2002年 在アメリカ合衆国日本国大使館で領事部長

2002年-2005年 3度目のモンゴル在勤として在モンゴル日本国大使館参事官

2005年 外務省総合外交政策局国連政策課企画官、外務省大臣官房  
広報文化交流部総合計画課企画官、外務省福利厚生室

2010年（平成22年）7月 外務省広報文化交流部国際文化協力室長

2011年（平成23年）9月1日 4回目のモンゴル在勤としてモンゴル  
ちゅうさつ  
駐 箭 特命全権大使

現在に至る。

#### 〔清水大使からのモンゴル国の実情説明〕

一人当たり GDP は 4,000 \$ 超え、今まで無償で○

DAなどの協力をしてきたが、非常に難しくなってきた。最後の無償提供として、現在は医科大付属病院の建設、学校設立を行っているほか、今まで草根無償事業等を通じて400件もの学校の修復をしてきている。学校は年齢別に時間を決めて学ぶ3部制が残っているところがあり、7万人の子供たちには教育が行き届いていないといえる。現在新しい国際空港を600億円の政府借款を供与して建設している。

そもそもモンゴルは中国経済に依存傾向にあり、このままでは中国経済失速のあおりを直接受けてしまう。日本政府が資金面でモンゴル側に低利（金利0.1%~0.2%、償還期間40年、据置期間10年）で負担の少ないソフトローン提案をするも、高金利（2%）でも賄賂等見返りのある中国からの融資を受けてしまっている。またEPAを先月発効したことで、羊毛・織獣毛制衣類に関して、日本へ輸出する際の関税（10.9%）が即時撤廃されたため中国と競争ができるようになる。

繊維カシミヤにおいては、国全体の70%が原毛のまま中国へ輸出され、そのまま中国で加工され日本へ輸入されている。日本政府がもっているスキームを使ってモンゴルの企業を技術面でサポートしてもらえればありがたい。モンゴルに足りないものはお金と技術である。

（富澤より）モンゴルのホテルでは、枕やベッド等の備品に、中国製、韓国製の安価なプラスチック製品を用いている。観光立国であることと、豊富な資源を生かし、ホテルに一部の部屋だけでも自産の寝具を入れるのはどうか。

（大使より）時刻産品を利用したいと誰しも考えているが、資金がないことが上げられる。また、シャングリラのような海外の大手ホテルから、ツーリストキャンプ（ゲル）など寝具の仕様はピンキリ。そこでお客様は何を求めているかである。300万の人口では市場規模が小さく、工場で効率の良い生産を目指してもそれが達成できず、コストが合わなくな

ってしまう（輸出するなら別）。

モンゴルの観光シーズンは、6～8月と短いので購入コストに対して全体的に割高になる。それよりもまず、原毛から手を付ける方が良いと考える。選毛することにもっと力を入れていったらどうか。一般庶民は安くてもいいものを必要としている。

（富澤より）それに我々は協力できるが本来は動物（羊やヤギ）の品種改良も必要になってくる。

（大使より）おっしゃる通りで内モンゴル（中国領区）にいるヤギは商品価値の高いホワイトのヤギに統一化・単一化すべく品種改良しているが、モンゴルは20年経っても何も変わっていない。

もともとモンゴル人は協調性が低く、全員が同じ方針・方向性に向かって取り組むことは苦手であり、また国民の負担になるような改良はできないが、政権が交代したので、タイミングはよいと思う。本来はモンゴル政府が自国資源をどう活用するかを考えなければならぬ。それができていないことが問題。モンゴル政府が政策方針を考えられないのであれば、日本が支援することも一案である。どのような援助が可能か検討してみたい。

#### ■検討事項■

- 技術指導について：JICAや政府機関を通じてどのようにやっていくか。補助の方法。
- アグリーメントについて：途中で話が頓挫しないようしっかりと契約書をかわす。
- 洗毛について：洗剤の使い方、洗い方でだいぶ変わる。
- 設備機械について：サンシロー社、ツヤ社など、どの機械が使えてどのような機械、または物が必要なのか。



（下列 左から2人目 清水武則 特命全権大使）

#### ○モンゴル国前鉱業大臣（ジグジット氏）

前モンゴル国鉱業大臣ジグジット氏、奥様メグさんとの面談。政権が交代してプライベートの時間もようやくできたと話すジグジット氏。

清水大使との面談内容も踏まえ、ふとん用わたに加工するための洗毛工程の機械がどの程度モンゴル国内にそろっているか精査が必要。また元竹本油脂（榎木下氏の指導により、洗剤の使い方、洗い方に注意が必要とのことであり、ジグジット氏もなるほどとなついていた。富澤はモンゴル国内のホテルに国産（＝モンゴル産）の商品をおいて自国の地上資源をアピールすることを伝えたが、ウランバートル市の人口は134万人と少なくホテル（＝観光客）相手といっても市場が小さすぎ、商品が回転しない。そこでやはり世界へ向けて輸出することを視野に入れていき、国のスキームを活用することが望ましいのではないかと。



（右列 手前から バトマさん、メグさん、ジグジット氏）



2日目ツーリストキャンプ泊



遊牧民体験(ゲル)

ヤギ



青いベッドカバーはウール製品(ゴワゴワ感あり)



羊とカシミヤ



羊とカシミヤ



# 統 計 資 料

## 繊維統計

2016年1～9月のふとん生産量  
250万枚、0.3%増加

2016年1～9月の製綿生産量  
4,192トン、0.5%増加

### ふとん生産量の推移 (単位：千枚、%)

### 製綿生産量の推移 (単位：トン、%)

年 別	掛 け	敷 き	こたつ	羽 毛	合 計
06年	1,936 99.7	2,845 102.9	512 69.6	1,963 92.7	7,256 96.0
07年	1,529 79.0	2,341 82.3	279 54.5	1,735 88.4	5,884 81.1
08年	960 62.8	1,811 77.4	281 100.7	1,722 99.3	4,775 81.2
09年	973 101.4	1,762 97.3	259 92.2	1,758 102.1	4,753 99.5
10年	978 100.5	1,710 97.0	237 91.5	1,659 94.4	4,583 96.4
11年	893 91.6	1,744 102.3	201 79.4	1,561 93.9	4,399 96.1
12年	813 91.0	1,661 95.2	161 80.1	1,382 88.5	4,017 91.3
13年	759 93.4	1,482 89.2	138 85.7	1,328 96.1	3,706 92.3
14年	791 104.2	1,598 107.8	160 115.9	1,296 97.6	3,844 103.7
15年	754 95.3	1,551 97.1	112 60.0	1,214 93.7	3,631 94.5
16年 1～9月	523 98.3	1,097 97.7	62 75.6	821 108.2	2,503 100.3
16年 1～3月	187 97.4	395 102.1	4 103.0	298 101.7	884 101.0
16年 4～6月	170 100.0	342 95.8	8 53.3	207 102.0	727 97.6
16年 7～9月	166 97.1	360 95.0	50 78.1	316 120.6	892 101.8

年別	合成繊維	その他(羊毛含)	合 計
06年	9,302(105.4)	4,199(100.6)	13,502(103.9)
07年	9,224( 99.2)	4,175( 99.4)	12,781( 94.7)
08年	9,830(106.6)	2,602( 73.2)	12,432( 97.3)
09年	8,568( 87.2)	2,288( 87.3)	10,856( 87.3)
10年	9,092(106.1)	2,179( 95.2)	11,271(103.8)
11年	9,050( 99.7)	2,096( 96.3)	11,145( 99.1)
12年	7,998( 88.4)	1,908( 91.0)	9,906( 88.9)
13年	5,036( 63.0)	1,733( 90.8)	6,769( 68.3)
14年	4,414( 87.6)	1,613( 93.1)	6,027( 89.0)
15年	4,312( 97.7)	1,512( 93.7)	5,823( 96.6)
16年 1～9月	3,144(101.1)	1,048( 98.6)	4,192(100.5)

(経済産業省・繊維統計)

### 2016年1～10月の支出金額11%減少 ふとんへの一世帯当たりの支出額

(単位：円、枚、%)

年別	支出金額	購入数量	平均単価
08年	3,682(105.1)	0.262( 97.8)	14,076(107.9)
09年	2,807( 76.2)	0.270(103.1)	10,397( 73.9)
10年	2,913(103.8)	0.278(103.0)	10,484(100.8)
11年	2,912(100.0)	0.262( 94.2)	10,851(105.9)
12年	3,383(116.2)	0.265(101.1)	12,762(117.6)
13年	2,747( 81.2)	0.259( 97.7)	10,606( 83.1)
14年	3,369(122.6)	0.257( 99.2)	13,105(123.4)
15年	3,020( 89.6)	0.263(102.3)	11,480( 87.6)
16年 1～10	2,099( 89.0)	0.185( 86.0)	11,457(101.4)

上段は数量、下段は前年比 (経済産業省・繊維統計)

(総務省、家計調査)

## 貿易統計

## 2016年1～10月「合繊ふとん」輸入枚数 1,169万枚、2.1%増加

## 合繊ふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	タイ	その他	合計
2010年	数量	10,472(98.2)	150(346.4)	1(83.1)	26(81.3)	10,649(99.1)
	金額	12,741(92.2)	213(517.3)	20(81.4)	191(70.7)	13,165(93.0)
2011年	数量	12,500(119.4)	426(283.8)	4(553.6)	23(88.5)	12,953(121.7)
	金額	17,326(135.9)	705(330.6)	86(441.0)	171(89.5)	18,288(138.9)
2012年	数量	12,461(99.7)	547(128.3)	4(91.7)	13(56.5)	13,025(100.6)
	金額	17,897(103.3)	1,139(161.6)	145(168.5)	48(28.1)	19,229(105.9)
2013年	数量	13,198(105.9)	603(110.2)	4(105.9)	8(61.5)	13,813(106.0)
	金額	21,844(122.0)	1,655(145.2)	167(115.0)	29(134.7)	23,695(123.2)
2014年	数量	13,873(105.1)	608(100.8)	4(99.9)	12(150.0)	14,497(111.9)
	金額	24,781(113.4)	1,984(119.9)	139(83.3)	32(110.3)	26,936(147.3)
2015年	数量	13,352(96.2)	828(136.2)	3(75.0)	7(58.3)	14,190(97.9)
	金額	26,097(105.3)	2,751(138.7)	115(82.7)	32(100.0)	28,995(107.7)
2016年 1～10月	数量	11,078(102.8)	604(90.8)	1(45.2)	10(142.9)	11,693(102.1)
	金額	17,815(84.5)	1,739(80.2)	46(44.9)	32(110.3)	19,632(84.0)

## 2016年1～10月「その他ふとん」輸入枚数 113万枚、5.3%増加

## その他のふとんの輸入実績

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ベトナム	インド	その他	合計
2010年	数量	1,295(91.5)	8(—)	0(85.7)	13(40.6)	1,316(91.0)
	金額	2,542(94.0)	15(—)	1(129.0)	95(35.2)	2,653(77.9)
2011年	数量	1,313(101.4)	—	0(108.2)	37(284.6)	1,350(102.6)
	金額	2,809(110.5)	—	1(92.7)	250(263.2)	3,060(115.3)
2012年	数量	1,368(104.2)	0(—)	2(317.5)	37(100.0)	1,407(104.2)
	金額	3,111(110.8)	7(—)	5(441.0)	240(96.0)	3,363(109.9)
2013年	数量	1,582(115.6)	13(5469.3)	3(179.1)	9(24.3)	1,607(114.2)
	金額	4,496(144.6)	23(342.7)	4(89.4)	79(32.9)	4,602(136.9)
2014年	数量	1,584(120.6)	8(64.6)	7(266.8)	19(211.1)	1,618(119.9)
	金額	4,497(160.1)	15(66.3)	10(231.5)	153(193.7)	4,675(152.8)
2015年	数量	1,291(81.5)	34(425.0)	7(100.0)	4(21.1)	1,336(82.6)
	金額	4,177(92.9)	68(453.3)	13(130.0)	40(26.1)	4,298(91.9)
2016年 1～10月	数量	997(95.7)	124(707.4)	1(11.5)	3(150.0)	1,125(105.3)
	金額	2,881(85.7)	219(675.2)	2(14.3)	32(106.7)	3,134(91.3)

## 2016年1～10月「羽毛ふとん」輸入枚数 186万枚、20.7%増加

### 羽毛ふとんの輸入推移

(単位：千枚、百万円、%)

年	国	中国	ドイツ	ベトナム	その他	合計
2013年	数量	3,218(94.2)	13(82.2)	454(66.5)	10(320.0)	3,695(89.7)
	金額	8,967(99.7)	410(86.1)	1,535(86.1)	74(125.1)	10,987(97.1)
2014年	数量	1,584(49.2)	10(76.9)	263(57.9)	3(30.0)	1,860(50.3)
	金額	7,184(80.1)	500(122.0)	1,577(102.7)	125(168.9)	9,386(85.4)
2015年	数量	1,649(104.1)	10(95.5)	229(87.1)	7(233.3)	1,895(101.9)
	金額	7,265(101.1)	408(81.6)	1,365(86.6)	130(104.0)	9,168(97.7)
2016年 1～10月	数量	1,708(126.8)	7(86.3)	128(71.7)	6(295.3)	1,859(120.7)
	金額	5,420(97.5)	256(80.2)	472(45.2)	127(124.5)	6,262(88.8)

## 2016年1～10月「羽毛原料」輸入数量3,010トン、32.4%増加

### 羽毛原料の輸入推移

(単位：トン、百万円、%)

年	国	中国	台湾	ハンガリー	その他	合計
2013年	数量	1,573(91.5)	1,058(94.1)	153(73.6)	967(115.4)	3,751(96.5)
	金額	10,974(147.6)	6,443(138.9)	1,782(126.9)	6,778(173.2)	25,977(149.4)
2014年	数量	1,653(105.1)	797(75.3)	126(82.4)	761(78.7)	3,337(88.9)
	金額	10,722(97.7)	6,060(94.1)	1,564(87.8)	6,745(99.5)	25,091(96.6)
2015年	数量	1,478(89.4)	885(111.0)	77(61.1)	641(84.2)	3,081(92.3)
	金額	6,749(62.9)	5,168(85.3)	791(50.6)	4,950(73.4)	17,658(70.4)
2016年 1～10月	数量	1,096(102.1)	893(133.3)	227(384.3)	471(69.7)	3,010(132.4)
	金額	3,595(69.2)	3,012(76.9)	1,302(214.6)	3,842(65.1)	12,519(92.4)

迎 春